

感染症関連情報

新型コロナワクチン追加（3回目）接種について

なぜ追加接種が必要か？

日本で接種が進められているワクチンは、高い発症予防効果があり、感染や重症化を予防する効果も確認されています。しかしながら、感染予防効果等は時間の経過に伴い、徐々に低下していくことが、様々な研究結果等から示唆されています。例えば、ファイザー社のワクチンを接種された人の情報を集めた米国での研究によると、12歳以上における感染予防効果は、2回目接種後1ヶ月以内では88%であったところ、5~6ヶ月後には47%にまで有意に低下したとの報告があります。発症予防効果についても、6ヶ月間の追跡調査の結果、2回目接種後7日以降2ヶ月未満では96.2%であったところ、4ヶ月以降では83.7%であり、経時的に低下していくことが確認されています。また、入院予防効果や重症化予防効果は、2回目接種から6か月後まで維持されるとの報告がある一方、60歳以上において、接種完了から半年以降で重症例の発生率に上昇傾向が見られたという報告もあります。

追加接種にはどのような効果があるか？

追加接種を行わなかった場合と比較して、感染予防効果や重症化予防効果を高める効果があります。

イスラエルで実施された、ファイザー社のワクチンの接種後の情報を集めた研究では、追加接種した場合における入院予防効果は93%、重症化予防効果は92%、死亡に対する予防効果は81%であったと報告されています。さらに、60歳以上で追加接種を受けた場合では、追加接種を受けなかった場合と比較して、感染例の発生率が11.3分の1、重症例の発生率が19.5分の1であったとの報告もあります。また、米国で実施されたファイザー社のワクチンの追加接種に係る臨床試験の結果によると、18~55歳の被験者を対象に、ファイザー社のワクチンの追加接種を行い、血清中の新型コロナウイルスに対する中和抗体の増加状況を確認したところ、3回目の接種から1ヶ月後の中和抗体価は、2回目の接種から1ヶ月後の中和抗体価よりも数倍高い値であることが確認されています。

なお、ファイザー社のワクチンについては、日本では令和3年11月11日に追加接種に係る薬事承認がなされています。

情報元：厚生労働省

SAITO MEDICAL GROUP



既成概念を突き抜ける私たちの強い信念と、
「患者さんと私たち、自分たちとその家族」
を象徴する2つの円が、ともに生きる姿を表現しています。

ともに生きるかい
共生会通信

VOL.42 

2022.1
発行：SAITO MEDICAL GROUP
編集制作：医療法人共生会 企画広報部
〒088-3465 川上郡弟子屈町川湯温泉 4-8-30
TEL 015-483-3121
<https://saitomedical.jp/>

川湯の森病院 近況

10周年

隣接する旧病院から現在の場所に新築移転してから、早いもので10周年を迎えます。川湯の森病院は療養病床100床を有している病院です。医療面では病棟のみならず、在宅医療の充実、連携の強化等が進んでいます。病院の外ではハウス野菜や山ぶどう、コーヒーの栽培、また、太陽光や温泉熱を活用したエネルギーの自給自足など、医療機関の枠にとらわれない運営を展開しています。外部から見ると、いい病院が建っただけでなく、活気ある企業という印象を持たれているようで嬉しい限りです。早10年たちましたが、これから10年も、新事業の展開等、今年以降も引き続き果敢に挑戦し続けていきます。

12月1日 クリスマスマジックショー

昨年12月に病棟でクリスマスマジックショーを開催しました。病棟では年に数回のイベントを行っています。



		
		
		

おいしい健康食レシピ

とん天

1. 豚肉切り落としを2cmの長さで切る。
2. Aの材料を混ぜ合わせ、切った豚肉を漬ける。
3. 長ネギを2cmの長さに斜め切りにする。
4. 衣を作り、豚肉と長ネギを入れて、軽く和える。
5. 一口大の大きさにして、油で揚げる。
6. ブロッコリーを茹でて、とん天と一緒に皿に盛り付け完成です。

こちらのメニューは、川湯の森病院と同グループの老人ホーム「森の家しらかば」で提供された食事です。
森の家しらかばホームページ
<https://shirakaba.tomoni-ikirukai.jp/>



※ 分量(1人分)

・豚切り落とし(2cm切)	70g
・長ネギ(斜め切り)	10g
・ブロッコリー	15g
下味調味料(A)	
・しょうゆ	3g
・酒	3g
・おろしにんにく	少々
衣(B)	
・冷水	適量
・マヨネーズ	3g
・薄力粉	適量



七草粥

1月7日の朝、春の七草を入れたお粥を食べるといふ七草粥は正月の行事の一つとして定着しています。

実は人日(じんじつ)の節句、という端午の節句や七夕と同じ五節句の一つの行事なのだそうです。

無病息災を願う七草粥の行事は、野菜が不足しがちな真冬の1月に栄養分を補うという意味合いもある中国が起源の行事です。

春の七草は早春にいち早く芽吹く野菜という事で、古来より邪気を払う縁起物と考えられていたようです。

因みに、春の七草、知っているようで、いざとなるとなかなか7種類全部が言えないものですが、

『セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ』の7種になります。

それぞれ消化器系を中心に体に良い栄養素を含むヘルシー食材。

年末年始に酷使した胃腸をリセットする意味でも七草粥はぜひ多くの方に取り入れて頂きたい1月のイベントです。



農園園芸課だより

コーヒーが実をつけ少量ですが育っています。

冬の寒い日でも日中は25℃前後、朝晩でも16℃前後を保っています。今はほうれん草が最盛期です。



スタッフ募集

川湯の森病院では、介護スタッフを募集(ハローワークにて情報公開)しています。介護に興味のある方、一度見学に来てみませんか？

